



飯塚市教育委員会事業評価結果報告書

(平成30年度分)

～本物志向・未来志向のひとづくりのために～

かしこく やさしく たくましい 子どもたちの育成
いつでも どこでも だれでも 学べる環境づくり
個性豊かな 新しい文化の創造
次代の飯塚市を担う ひとづくり

令和元年11月

飯塚市教育委員会

目 次

I	はじめに	・・・・・・・・・・	P 1
II	飯塚市教育委員会について	・・・・・・・・・・	P 1
III	教育委員の活動状況	・・・・・・・・・・	P 2
	(1) 教育委員会会議		
	(2) 研修会等への参加状況		
IV	平成30年度事務事業評価	・・・・・・・・・・	P 5
	1 点検・評価について		
	(1) 点検・評価する事務の対象		
	(2) 点検・評価の方法		
	(3) 結果の取扱い		
	2 全体評価結果		
	(1) 全体集計結果	・・・・・・・・・・	P 5
	(2) 外部評価講評	・・・・・・・・・・	P 6
	3 取組み施策別評価結果		
	(1) 学校教育	・・・・・・・・・・	P 8
	(2) 社会教育	・・・・・・・・・・	P 11
	(3) 事務事業に係る点検・評価シート一覧表	・・・・・・・・・・	P 14
	(4) 点検・評価シート（各課提出）	・・・・・・・・・・	P 15
●	参考資料		
	平成30年度教育委員会会議議決及び報告事項一覧	・・・・・・・・・・	P 31

＜本報告書作成にあたり外部評価いただいた方々＞

福岡教育大学特任教授 主税 保徳

元小学校校長 森山 一昌

I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすために、平成 30 年度の飯塚市教育委員会に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、教育に関し学識経験を有する者の意見を付して、報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 飯塚市教育委員会について

【組織、構成】

都道府県及び市町村等に置かれる行政機関のひとつで、教育長及び 4 人の教育委員をもって組織される合議制の執行機関であり、学校教育、生涯学習、文化等に関する事務を担当しています。

【教育長の任命】

市長の被選挙権を有するもので、人格が高潔で、教育行政に関し識見を有するものうちから、市長が議会の同意を得て任命し、その任期は 3 年で、再任できることとなっています。

【教育委員の任命】

市長の被選挙権を有するもので、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するものうちから、市長が議会の同意を得て任命し、その任期は 4 年で、補欠委員の任期は前任者の残任期間となります。また、委員は再任できることとなっています。

【運営等】

教育委員会は、大局的な見地から教育行政の基本的方針を決定し、その方針決定を受け、教育長が事務局を指揮監督して具体的な事務を執行する仕組みとなっています。

【飯塚市の教育委員会】

職名	氏名	現在の任期
教育長	西 大輔	平成 29 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日
委員(教育長職務代理者)	上田 敬子	平成 28 年 5 月 17 日～令和 2 年 5 月 16 日
委員	大隈 恵子	平成 30 年 5 月 17 日～令和 4 年 5 月 16 日
委員	高石 双樹	令和 元年 5 月 17 日～令和 5 年 5 月 16 日
委員	安永 卓生	平成 29 年 5 月 17 日～令和 3 年 5 月 16 日

Ⅲ 教育委員の活動状況

1 教育委員会会議

教育委員会会議は、毎月1回の「定例会」と教育長が必要と認めたとき等に開催する「臨時会」からなっており、付議案件及び懸案事項などの審議を行い、教育行政の方針等を決定しています。

【平成30年度開催状況等】

- ① 開催回数：14回（うち定例会12回、臨時会2回）
- ② 付議件数等：議決事項・・・ 51件 ※「参考資料」参照
報告事項・・・ 52件 ※「参考資料」参照
- ③ 主な付議案件
 - 平成31年度から使用する中学校教科用図書の採択
 - 飯塚市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則
 - 飯塚市文化会館（イイズカコスモスコモン）改修計画の策定
 - 飯塚市附属機関の設定に関する条例の一部を改正する条例
 - 飯塚市社会教育関係団体の登録に関する要綱の一部を改正する告示
 - 飯塚市立学校管理規則の一部を改正する規則
 - 飯塚市文化財保存活用推進委員会規則の制定
 - 飯塚市立小中学校における働き方改革推進委員会の設置等に関する要綱
 - 飯塚市学校ICT環境整備推進計画の策定
 - 飯塚市いじめ・不登校問題連絡協議会委員の委嘱
 - 飯塚市学校運営協議会委員の任命
 - etc

2 研修会等への参加状況

教育委員会会議以外にも、公式行事への参加、学校の訪問・意見交換会、他市町教育委員との合同研修会など、様々な活動を行っています。以下は、主に教育委員会事務局に案内や参加依頼があった案件のみ記載していますが、これ以外にも地域における様々な各種行事等へ参加しています。

◇会議・研修会等への出席

時期	名称	概要
平成30年4月	中学生海外研修事業 研修生解団式	飯塚市の中学生20名が姉妹都市サニーバール市での研修を終え帰飯、本市で解団式を行う
	飯塚市立小・中学校管理職春季研修会	「管理職に期待すること」についての講話、「これからの学校に期待する子ども・保護者対応」についての講演

4月	平成30年度福岡県市町村教育委員会教育長等会議	平成30年度福岡県教育行政の主要施策及び事業計画
5月	平成30年度飯塚市小中学校PTA連合会総会	飯塚市PTA連合会の平成29年度事業及び活動報告、平成30年度事業計画及び予算
	平成30年度筑豊教育事務所管内教科用図書調査研究協議会(第1回、第2回)	教科用図書調査研究協議会の役員選任、組織、予算についての協議、筑豊教育事務所管内調査研究協議会規約の制定
6月	第37回飯塚新人音楽コンクール本選	全国から応募のある新進演奏家によるピアノ・声楽の競演会、5月に予選、6月に本選を行う
	平成30年度福岡県重点課題研究推進連絡協議会	指定校の研究構想や具体的な内容・手法等について協議し、指定校の研究推進を図る
	サニーベール中高生等来飯歓送迎会	来飯した米国カリフォルニア州のサニーベール市の中高生との交流事業等
7月	同和問題啓発月間街頭啓発	イオン穂波ショッピングセンターに於いて来店者への街頭啓発活動
	平成30年度筑豊市町村教育委員会連絡協議会総会	総会及び「国及び県の教育課題と筑豊地区への期待」についての研修会等
	平成30年度筑豊教育事務所管内教科用図書調査研究協議会(第3回)	教科用図書調査研究協議会における筑豊教育事務所管内調査研究協議会、調査研究部の報告、承認
	長崎街道筑前六宿連携事業子どもサミット	旧宿場町のまちづくり団体や関係市と連携し長崎街道のPR、郷土の歴史文化に関する研究活動報告や地域に伝わる伝統芸能披露
8月	平成30年度飯塚市少年の主張大会	人格の形成過程にある中学生が日常のなかで自分を取り巻く社会をどのように捉え何を感じているのか等を発表する青少年健全育成事業
	飯塚市立小・中学校管理職夏季研修会 人権・同和教育実践交流会	「人権が尊重される社会をめざして」の講話及び「多様性を受け入れる学級を目指して」「リアリティのある学びの創造」等についての実践発表研修を実施
	平成30年度飯塚市学力向上フォーラム(全教職員研修)	情報化・グローバル化社会で活躍できる子どもの育成に向けて「中学生海外研修事業」の報告、「新学習指導要領の実施に向けて今、学校で取り組むべきこと」の講演
9月	日本生活体験学習学会第20回研究大会	庄内生活体験学校における子ども・保護者・ボランティア・職員の体験発表、及び実践報告
	第43回飯塚少年剣道大会	小学生の部及び中学生の部による個人戦・団体戦

10月	第32回九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会	総会及び「オリンピック・パラリンピック教育の推進を通じて地方都市が目指すべきもの」の講話
	平成30年度中学校管理職研修会	「新しい学力観」「学力向上に向けた管理職の役割」についての講話、全国学力・学習状況調査結果分析等についての説明
	福岡県重点課題研究指定校委嘱事業最終報告会	指定校（片島小、飯塚第一中）における指導研究発表、研究協議、研究結果等の報告
11月	いっぴか小学生の討論会	市内19小学校の代表19名による、テーマ「あなたはどんな大人になりたいですか」の討論会
	平成30年度第1回飯塚市総合教育会議	議題：「飯塚市立学校のICT環境整備」について 報告事項：「飯塚市グローバル人材育成研修事業」
平成31年1月	飯塚市成人式	小野山莉々香氏のバトリン演奏、オリジナルプロモーションビデオ上映会、嘉徳高等学校書道部パフォーマンスなど
	飯塚市立小・中学校管理職冬季研修会	「飯塚市のキャリア教育の今後の方向性」の説明、「ハラスメントのない学校づくりのために」の講演
2月	平成30年度飯塚市教育講演会	「新学習指導要領の方向性と大学入学共通テストで問いたい力」についての講演

◇学校訪問・行事等への出席

時期	名称	概要
平成30年4月	小学校・中学校入学式	市立小学校19校 市立中学校10校
平成30年4月 ～平成31年3月	定例校長会	円滑な学校運営を図るために、様々な教育課題について協議
平成30年5月、 平成30年11月	学校開放日	市立小学校19校・中学校10校で実施される公開授業の視察
平成30年10月	学校訪問	幸袋中学校など各小中学校を訪問、授業視察等を踏まえ学校運営等についての意見交換
平成30年6月 ～平成30年10月	研究指定・委嘱校研究発表会	片島小学校など各小中学校を訪問、実践的な取り組み等の研究発表会の視察
平成31年3月	小学校・中学校卒業式	市立小学校19校 市立中学校10校

IV 平成 30 年度事務事業評価

1 点検・評価について

(1) 点検・評価する事務の対象

飯塚市教育施策要綱に掲げる主要施策を達成するために取り組んだ、主な事業を対象としています。

(2) 点検・評価の方法

(1)に係る事業ごとに、必要性、効率性、公平性の観点からその達成度について、それぞれの所管課・部署が自己評価を行い、点検・評価の客観性を確保するために第三者の方々に外部評価をいただきました。

外部評価については、教育に関し学識経験を有する者で、公正な意見を述べることを期待できる人を想定し、教育系大学の教授と元小学校校長、計 2 名の方に評価をいただきました。また、事業ごとに評価者と各所管課との間でヒアリングを実施し、各事業の達成度や成果等について意見聴取を行いました。

この点検・評価においては、事業ごとにその達成度・成果等に応じて、評価者 2 名の合議のもと、A（達成している）、B（概ね達成している）、C（課題がある）、D（事業見直しが必要）で評価しています。

(3) 結果の取扱い

評価の高い事業は引き続き実施し、評価の低い事業については課題や問題の解決を行うと同時に、事業の見直しについても検討していきます。

2 全体評価結果

(1) 全体集計結果

飯塚市教育施策要綱に掲げた主要施策を達成するために、平成 30 年度に実施した事務事業の中で、事業の必要性や継続性等の観点から学校教育分野で 5 事業、社会教育分野で 5 事業の計 10 事務事業の選定を行い、令和元年 8 月 27 日（火）にヒアリングを実施し外部評価者より評価をいただきました。

その結果、目標達成度は次の表のとおり、「A 達成している」が 6 事業で 60%、「B 概ね達成している」が 4 事業で 40%、「C 課題がある」、「D 事業見直しが必要」は 0 事業でした。

《評価結果集計表》

() 内は率

評価 区分	A 達成	B 概ね達成	C 課題がある	D 要事業見直し	全 体
学校教育	3	2	0	0	5
社会教育	3	2	0	0	5
計	6 (60%)	4 (40%)	(-)	(-)	10 (100%)

(2) 外部評価講評

□ 福岡教育大学特任教授 主税 保徳

平成 30 年度に実施された 10 事業について聞き取りを含めて検討し、評価を行った。学校教育・社会教育各 5 事業、合計 10 事業中で「達成」6 件、「概ね達成」4 件と「達成」が昨年度よりも 1 件増えており、全体的に適切な実施であったと評価できる。以下、分析・考察を提示する。

学校教育に関して、「知識構成型ジグソー法による協調学習の推進」は、エキスパート教員について、学校における具体的な活用や授業方法など、また、学力・学習状況調査結果にどのように繋がったかを目に見える成果として表してほしい。「英語学習の充実」では、ALT 人材の確保に苦慮する中、派遣実施率は目標値を達成しており評価できる。今後、児童生徒が積極的にコミュニケーション能力を更に高めることができるよう、また、学力向上に繋がる取組となるように工夫改善を行って頂きたい。「本物・未来志向の人材育成事業の実施」は、それぞれ個人がキャリア形成をしていくために様々な仕事に触れ、体験できる学習の時間は、最も重要なことである。今後も、職場体験学習等の充実においては、商工会議所との更なる連携を図ることに努めて頂きたい。「学校図書整備・充実」は、小・中学校において所蔵図書の整備を図り、充足率の増加に繋がっていることは評価できる。今後も、司書教諭や学級担任との連携及び、図書委員の役割を担う児童生徒との協力体制も図りながら、図書館の利用促進に努めてほしい。「栄養教諭等と連携した食育イベント等の啓発事業の実施」は、イベント開催の周知を広く行い、参加者数の目標値を達成していることは評価できるが、食育の観点から、献立の栄養面や工夫点などを明示し、試食会等が食育の推進に結び付くものであることの周知も行って頂きたい。

社会教育に関して、「飯塚市少年の船事業の実施」は、参加者の満足度も高く、更に過去に参加した子ども団員をジュニアリーダーや指導員に育成し、事業を継続されていることは大変評価できる。今後も、異年齢間の交流や自主性や社会性を育む体験活動として、事業の魅力を保護者や学校に打ち出し、参加者の獲得に繋げて頂きたい。「各図書館や地域の特性を考慮した図書館資料の収集・保管・有効活用」は、図書資料選定を工夫され、蔵書累計数の増加に繋がっていることは評価できる。貸出冊数だけでなく、団体貸出件数や電子情報の提供数なども、有効活用の成果指標として考えて頂きたい。「家庭・地域・保育所（園）・認定こども園等・学校・図書館における子ども読書活動の推進」は、家読を推進するためには、保護者や PTA の協力も必要であるが、学校教諭との連携が最も重要である。市職員だけでなく、それぞれを巻き込んだ事業展開が目標値に効果的と考える。「文化会館等における文化芸術事業の充実」は、各事業の入場者数において、概ね目標値を達成しており評価できる。児童画展について、例えば作品を額縁に入れて展示、また、優秀作品は次年度でも展示するなど、展示の手法を工夫し、更なる入場者増の取組も検討して頂きたい。「発掘調査事業の実施」は、目標値設定において、発掘調査の成果である遺物等の保存をどれくらい行ったか、また、その活用をどのように行ったかを示す数値等も検討してほしい。今後も、事前調査の対応を図るとともに、埋蔵文化財の保存・継承・活用に努めて頂きたい。

□ 元小学校校長 森山 一昌

平成 30 年度に実施された学校教育分野の 5 事業と社会教育分野の 5 事業についてヒアリングを中心に評価を行いました。合計 10 事業中「達成している」6 件、「概ね達成している」4 件でした。どの事業も問題はなく適切に実施されたと思われまます。以下、それぞれの事業について評価の概要を述べます。

学校教育分野について、「知識構成型ジグソー法による協調学習の推進」では、協調学習エキスパート教員の養成等の取組は評価できます。今後は、知識構成型ジグソー法による実践を通して『教師の学力観・指導観・児童生徒観がどのように変わってきているのか』『児童生徒の学習に対する考え方はどのように変わってきているのか』等を調査してほしいと思います。「英語学習の充実」では、外国人講師等とのスケジュール調整が難しい中、目標どおりに実施されていることは評価できます。オンライン英会話の取組は、国際社会への対応と 2020 年度から始まる外国語科新設に向けた重要な取組であるので、今後、教育効果がどのように上がったのかを示す数値等も成果として公表してほしいと思います。「本物・未来志向の人材育成事業の実施」では、通常では得られない学習の場となっており、子どもたちの自尊感情を高めるためにも有効であると感じます。今後は、事業実施前後において、子どもたちがどのように変わったかなど、多くの実績資料をもとに成果を公表することも考えて頂きたい。「学校図書整備・充実」では、図書充足率は、概ね目標値を達成していることは評価できます。貸出冊数については、教員等と連携しながら、子どもたちが本をより身近に感じられるような展示、掲示にも工夫を凝らし、更なる利用促進に取り組んで頂くことを期待します。「栄養教諭等と連携した食育イベント等の啓発事業の実施」では、参加者数も重要であるが、参加者による試食献立の評価や、学校給食の安心度、満足度等を示した目標値設定も必要ではないかと思ひます。

社会教育分野について、「飯塚市少年の船事業の実施」では、参加者の満足度達成率 100%は大変評価できます。次年度においては、どういうところが満足であったか、また、ジュニアリーダーとして参加された団員の参加理由なども公表し、地域のリーダー的な役割を担う青少年の育成に繋げてほしいと思います。「各図書館や地域の特性を考慮した図書館資料の収集・保管・有効活用」では、事業内容と図書館利用状況との関連性を明確にすることを望みます。今後さらに 5 館の特性を広く周知し、図書館資料が市民のニーズに合った活用がされることを期待します。「家庭・地域・保育所（園）・認定こども園等・学校・図書館における子ども読書活動の推進」では、家読の実施をされて、学校側、保護者側及び子どもたちの反応がどのようなものであったかを公表することも必要と思ひます。今後も学校図書司書との連携を図り、家読が更に普及されることを期待します。「文化会館等における文化芸術事業の充実」では、自ら進んで文化芸術に触れようとする方だけではなく、無意識に文化芸術に触れられるような場面の設定にも取り組むことで、更に入場者の増加に繋がると思ひます。「発掘調査事業の実施」では、発掘調査における遺物・遺跡等の公表や活用した件数を目標値にすることも検討して頂きたい。今後も文化財行政に対し市民の理解を求めていくことに努めてほしいと思ひます。

3 取組み施策別評価結果

表 の 見 方	※ 「No.」は「事務事業に係る点検・評価一覧表」のシートNo.
	※ 「事業等」は「事務事業に係る点検・評価一覧表」の取組施策等
	※ 「所管課」は事業等を行った担当部署
	※ 「意見等」はヒアリングにおける評価者2名の意見等
	※ 「評価」・・・ A(達成している) B(概ね達成している) C(課題がある) D(事業見直しが必要)

(1) 学校教育

☆学力の向上

学力の基盤となる、基礎・基本の確実な定着と思考力・判断力・表現力等の育成に努めます。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
1	知識構成型ジグソー法による協調学習の推進	学校教育課	<p>小中学校における協調学習の更なる充実・発展を実現するため、「協調学習エキスパート教員」を養成し、思考力等を高める「知識構成型ジグソー法」を活用した実践的研究及び授業改善の推進を図り、小学校における学力・学習状況調査では全国平均を超える成果に繋がられていることは評価できる。</p> <p>「エキスパート教員」については、学校における具体的な活用や授業方法など、協調学習の目的を周知・啓発することも必要と考える。「知識構成型ジグソー法」になぜ取り組むのかという目的意識を明確化し、今後、市内小中学校において実施される研修会や授業研究での実践的研究により、教員同士のスキル向上と連携・協働を推進し、子どもたちの資質・能力の向上に努めて頂きたい。</p>	B

No.	事業等	所管課	意見等	評価
2	英語学習の充実	学校教育課	<p>外国人講師（ALT）派遣については人材の確保に苦慮する中、派遣実施率は目標値を達成しており評価できる。</p> <p>オンライン英会話の取組については、国際社会への対応と2020年度から始まる外国語科新設に向けた重要な取組であり、教育効果がどのように上がったのかを示す目標設定も必要と考える。</p> <p>今後、事業継続の中では、子どもたちが積極的にコミュニケーション能力を更に高めることができるよう、また小中学校の学力向上に繋がる取組となるように工夫改善を行い、より充実した事業とされることを期待する。</p>	A

☆キャリア教育の推進

子どもたちが将来を豊かに生きていけるよう、それぞれふさわしいキャリア形成をしていくために必要な資質・能力を育てるキャリア教育を推進します。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
3	本物・未来志向の人材育成事業の実施	学校教育課	<p>様々な分野で活躍されている方を指導者として招聘し、通常の学習では得られない活動や学びの場となっている。「本物」のプロと直接出会い、交流や実技指導を通して今後の生き方等について考えを深める機会となっており、夢を持って将来を展望する子どもたちの育成がなされている。</p> <p>今後、事業継続においては、商工会議所との連携を図り、より効果のある体験活動となるよう計画的に進めて頂きたい。また、子どもたちのキャリア形成に繋がる活動効果等を分析し、事業の有効性、成果等の公表を通じて、当該事業の継続・拡充に努めてほしい。</p>	B

☆豊かな人間性の育成

教育活動全体を通して、道徳性を養う心の教育の充実を図ります。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
4	学校図書の整備・充実	教育総務課	<p>学校図書館における図書充足率は、前年度より上昇し、概ね目標値を達成していることは評価できる。</p> <p>また、全学校に各1名の図書司書を配置し、学校図書館の運営、利用促進及び読書活動の推進を図られている。</p> <p>今後においては、学校図書館協議会や教職員等と連携を図り、児童・生徒が、より図書を身近に感じられるような展示や掲示にも工夫を凝らし、更なる利用促進に努めてほしい。</p>	A

☆学校給食の充実

安全・安心な給食の提供に努めるとともに、献立内容の工夫・改善や給食指導の充実等により学校給食を通じた食育を推進します。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
5	栄養教諭等と連携した食育イベント等の啓発事業の実施	学校給食課	<p>食育推進啓発のイベントでは、目標値を大きく上回る参加者数であったことは評価できる。</p> <p>但し、食育の推進を図る上では、どのような食育の工夫・改善がどういった成果を出したのかを数値として表記して頂きたい。また、保護者・教職員等による献立評価や、学校給食の安心度、満足度等を考慮した目標値設定も必要と思われる。</p> <p>児童生徒の心身の健全な発達と学校における食育の推進のためには、連続性と継続性による子ども達への働きかけが必要となる。</p> <p>今後も、学校給食法に定める基準を遵守して安全・安心な給食の提供に努めて頂きたい。</p>	A

(2) 社会教育

☆青少年交流事業・体験活動の充実

変化の激しい社会において、青少年が主体性をもって「社会を生き抜く力」を養っていきけるよう、青少年の交流事業・体験活動の推進と充実及び居場所づくりに努めます。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
6	飯塚市少年の船事業の実施	生涯学習課	<p>青少年と熟年者が集い団体生活を通じて、知識や経験、社会性を培うとともに仲間づくりを推進し、沖縄の歴史風土と戦争の悲惨さを学び平和の尊さを認識し、自己を高める事業に取り組まれていることは非常に素晴らしい。さらに過去に参加した子ども団員をジュニアリーダーや指導員等に育成し、事業を継続されていることは事務局の努力が評価できる。</p> <p>参加者へのアンケートでも満足度の高い回答となっているので、どんなところが満足であったか、事業の魅力を保護者や学校に打ち出し、今後の参加者の獲得と地域のリーダー的な役割を担う青少年の育成に繋がっていただきたい。</p>	A

☆読書活動の推進

本との出会い、読書の楽しさを伝えるため、図書館ボランティアと連携・協力して読書活動を推進します。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
7	各図書館や地域の特性を考慮した図書館資料の収集・保管・有効活用	生涯学習課	<p>市立図書館5館のうち3館が指定管理、2館が直営で図書館運営を行っている中で、指定管理者と市職員等が連携を図り、資料選定委員会や資料管理のあり方等の検討など、様々な工夫をされた結果、蔵書累計数の増加に繋がっていると思われる。</p> <p>目標値設定においては、図書館資料の活用状況を表せる指標と、その成果を表す数値等も検討していただきたい。</p> <p>貸出冊数の増加に向けては、5館全体の運営方法やそれぞれの施設の特徴、利便性等について、色々な視点から検討し、更なる利用者の拡大を目指してほしい。</p>	B

No.	事業等	所管課	意見等	評価
8	家庭・地域・保育所(園) ・認定こども園等・学校・図書館における子ども読書活動の推進	生涯学習課	<p>家族で同じ本を読んでコミュニケーションを深める「家読(うちどく)」は、家族の絆を深めることができ、豊かな感性や思いやりが生まれることから、児童期の情操教育に資する素晴らしい事業である。事業開始から2年目であるが、全小学校での実施はもとより、市内の各保育所(園)等にも拡大することを期待する。</p> <p>また、家庭における読書習慣の意識向上を図るため、家読ノートやスペシャルカード等を進呈されているが、家庭における活用状況調査も検討してほしい。</p> <p>現在、携帯電話、インターネットなど、様々な情報メディアの発達・普及により子どもたちを取り巻く生活環境の変化が進んでいるが、図書館事業を通じて子どもの発達段階に応じた長期的、計画的な事業の取組に努めて頂きたい。</p>	B

☆文化の振興

飯塚市文化振興マスタープランの基本理念である「個性豊かな新しい文化の創造」の実現に向けて文化芸術活動の充実を図ります。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
9	文化会館等における文化芸術事業の充実	文化課	<p>飯塚市の主な文化芸術事業として挙げられる「新人音楽コンクール」については、全国的にも名高いコンクールであり、継続的な実施に期待するが、寄附金等による運営の現状を広く周知することで財源確保に努めて頂きたい。</p> <p>「飯塚総合文化祭」については、文化活動を行う個人や団体等の発表の場や交流の場となっており、文化活動の意欲向上に大きく貢献されている。また、美術展については、高校、大学生への出展依頼など、幅広い年齢層の文化活動を促進しており評価できる。</p> <p>「小学校児童画展」については、入場者に創作活動を体験するコーナーを設けるなど、参加意欲の向上に工夫がなされており評価できる。</p>	A

			<p>課題とされる、参加者数の上昇については、文化芸術に触れる機会が少ない方に対する要因や参加ができる手段等の研究も行って頂きたい。</p> <p>また、若い世代の参加促進については、小・中学校や大学、市内企業と連携を深め、合同事業の開催など、市民全員の参加による文化芸術活動の推進を図られることを期待する。</p>	
--	--	--	--	--

☆文化財の保存・継承・活用

文化財の保存・整備・活用を図るとともに、地域の文化や特色を伝承する民俗芸能の保存・継承・活用に努めます。

No.	事業等	所管課	意見等	評価
10	発掘調査事業の実施	文化課	<p>市内における開発事業を円滑に進めるため、開発行為に伴う埋蔵文化財の状況を確認する事前調査については、事業者からの依頼により迅速に対応しており、その把握に努めていることは評価できる。</p> <p>目標値設定については、これまでの実績に基づき、発掘調査件数等を設定されているが、埋蔵文化財は地下に埋没しているという性格上、その有無を確認することは困難であり、件数を表すことも難しいと思う。</p> <p>発掘調査については、その作業で得られた新たな事実や記録等がどのようなものであったか、また、遺物（遺跡）がどのくらい重要なものであったのかを成果として捉え、その遺物の公表や活用件数を目標値とすることも検討して頂きたい。</p> <p>今後も、発掘調査の成果等については適切に保存・活用を行い、文化財行政に対し市民の理解を求めていくことに努めてほしい。</p>	A

事務事業に係る点検・評価シート一覧表（平成30年度実施）

区分	シート No.	取組み施策等	評価 結果
学校教育	1	知識構成型ジグソー法による協調学習の推進	B
	2	英語学習の充実	A
	3	本物・未来志向の人材育成事業の実施	B
	4	学校図書を整備・充実	A
	5	栄養教諭等と連携した食育イベント等の啓発事業の実施	A
社会教育	6	飯塚市少年の船事業の実施	A
	7	各図書館や地域の特性を考慮した図書館資料の収集・保管・有効活用	B
	8	家庭・地域・保育所（園）・認定こども園等・学校・図書館における子ども読書活動の推進	B
	9	文化会館等における文化芸術事業の充実	A
	10	発掘調査事業の実施	A

点検及び評価シート 【学校教育分野】

No 1

対象年度	30年度	所管課名	学校教育課
1	基本目標	かしこく やさしく たくましい子ども育成	
2	主要施策	1 確かな学力の育成	
		1-1 【学力の向上】 学力の基盤となる、基礎・基本の確実な定着と思考力・判断力・表現力等の育成に努めます。	
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	知識構成型ジグソー法による協調学習の推進	
	(2)事業等の内容	児童生徒の学力向上のために、東京大学C o R E F等と連携し、思考力・判断力・表現力等の育成を目的とする「協調学習」について「知識構成型ジグソー法」を活用した実践的研究を行う。	
	(3)事業等の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校標準学力検査N R Tの正答率全国比を超えた市内小学校の校数19校 ・中学校フクト学力分析検査の正答率福岡県比を超えた市内中学校の校数10校 	
4	取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】 東京大学C o R E F主催の研修会への参加をとおして、協調学習エキスパート教員を養成することで、市立全小・中学校での協調学習による授業改善の推進を図った。</p> <p>【成果】 平成30年度の小学校を対象としたNRTテストでは全国平均100に対して110.9ポイント、中学校を対象としたフクト学力検査では県平均100に対して102.3ポイントと、全国平均、県平均を超える結果を残している。また、全国学力・学習状況調査において、小学校は国・算とも全国平均を超える成果を示している。</p> <p>【目標値との対比】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校N R Tの正答率全国比を超えた学校19校中18校（94.7%） ・中学校フクトの正答率県比を超えた学校10校中6校（60%） 	
5	取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>【課題】 全国学力・学習状況調査で、知識の活用力をみとるB問題について、特に中学校において知識の活用に必要な思考力・判断力・表現力等に課題がみられた。</p> <p>【今後の方向性】 本市小・中学校等において実施されている「協調学習」での指導助言を行うエキスパート教員を育成し、思考力等を高める協調学習の実践的研究を今後ますます充実させ、深めていく必要がある。</p>	

点検及び評価シート 【学校教育分野】

No 2

対象年度	30年度	所管課名	学校教育課
1	基本目標	かしこく やさしく たくましい 子どもの育成	
2	主要施策	1 確かな学力の育成	
		1-1 【学力の向上】 学力の基盤となる、基礎・基本の確実な定着と思考力・判断力・表現力の育成に努めます。	
3	(1)事業等名	英語学習の充実	
	(2)事業等の内容	飯塚市立小学校、中学校に外国人講師を派遣し、児童生徒のコミュニケーション能力や英語に慣れ親しむ態度の育成を図る。 また、小学校においてオンラインによるマンツーマンでの英会話レッスンを取り入れた授業を行い、聞く・話すを中心とした英語の初歩的な運用能力を養う。	
	(3)事業等の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校ALT派遣実施率（派遣日数／派遣予定日数）→100% ・中学校ALTアンケート調査（指導満足度）→100% ・コミュニケーション能力アンケート調査→90% 	
4	取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】 小学校ALTについては、飯塚市立小学校の第3，4学年児童を対象に、英語を母国語とする外国人講師を派遣し、英語によるコミュニケーションの機会をもたせるとともに、異なる文化について体験的に理解を深めさせている。</p> <p>中学校ALTについては、飯塚市立中学校生徒を対象に、業務委託による外国人講師を派遣し、外国の言語や文化に対する理解を深めさせている。</p> <p>オンライン英会話については、飯塚市立小学校の第5，6学年児童を対象に、1児童あたり年間20回のオンラインによるマンツーマンでの英会話レッスンを取り入れた授業を行い、聞く・話すを中心とした英語の初歩的な運用能力を養っている。</p> <p>【成果】 ALT派遣について、小学校からの報告書において「児童の指導に生かした」との回答が97%であった。 中学校においては、学校の要望や生徒の実態に応じた授業を行うことができ、英語に対する興味やコミュニケーション能力が向上したとの感想があがっている。</p> <p>オンライン英会話については、平成29年度は6年生のみであったが、令和2年度から始まる外国語科新設に向けて効果をあげるため、平成30年度より5，6年生での実施に拡充することができた。</p> <p>【目標値との対比】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校ALT派遣実施率 目標値 100% 実績 100% 達成率 100% ・中学校ALTアンケート調査 目標値 10校 実績 10校 達成率 100% ・コミュニケーション能力アンケート調査 目標値 90% 実績 87% 達成率 96.67% 	

<p>5 取組・事業の課題、 今後の方向性など</p>	<p>【課題】 小学校ALTの確保に苦慮する。適切な人材確保が課題である。</p> <p>次期学習指導要領の目標と内容に沿った運用について検討が必要。</p> <p>オンライン英会話の2学年実施が始まり、3～4クラスの同時 間授業となり、スケジューリングが難しい。</p> <p>【今後の方向性】 オンライン英会話については、令和2年度以降の委託契約につ いて、プロポーザルによる契約で、よりよい学習環境になるよう 内容を検討する。 また、授業に使用する端末・ネットワーク環境等の設備更新を 順次行っていく。</p>
---------------------------------	--

点検及び評価シート 【学校教育分野】

No 3

対象年度	30年度	所管課名	学校教育課												
1	基本目標	次代の飯塚市を担う ひとつづくり													
2	主要施策	1 自分らしい生き方を求め、実現していく教育の推進													
		1-1 【キャリア教育の推進】 子どもたちが将来を豊かに生きてゆけるよう、それぞれふさわしいキャリア形成をしていくために必要な資質・能力を育てるキャリア教育を推進します。													
3	(1)事業等名	本物・未来志向の人材育成事業の実施													
	(2)事業等の内容	本事業は、教育・文化・スポーツ・福祉・経済等、様々な分野において第一線で活躍されている方を指導者として直接招聘し、通常の学習では得られない活動や学びの場を設定する企画を実施するものである。これらの事業を通して、子どもたちの「豊かな心・健やかな体・確かな学力」を培い、夢を持って将来を展望する子どもたちの育成を目指す。													
	(3)事業等の目標値	本事業に対する教職員アンケート、児童生徒アンケートの実施満足度 80%													
4	取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>国際平和活動を行われている宮良多鶴子氏の平和コンサート、プロサッカー選手による技術指導、障がい者スポーツであるゴールボール選手を招聘しての講演会。</p> <p>躍動的なダンスと歌声をともに体験することで自己表現力を高めるヤングアメリカンズ。</p> <p>職業のプロから直接説明、実技指導を受け、生徒が自らの生き方を考えるきっかけとする「お仕事スタジアム」等、第一線で活躍されている方々に直接関わることにより、児童・生徒たちは今後の生き方等について考えを深めている。</p> <p>【成果】</p> <p>上記のような様々な事業を展開し、児童・生徒たちを直接「本物」と出会わせることで、将来や今後の生き方について深く考える機会となっている。</p> <p>【目標値との対比】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前年度実績</th> <th>本年度実績 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>80</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>89</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>111.25</td> <td>115.88</td> </tr> </tbody> </table>			前年度実績	本年度実績 (%)	目標値	80	80	実績	89	93	達成率	111.25	115.88
	前年度実績	本年度実績 (%)													
目標値	80	80													
実績	89	93													
達成率	111.25	115.88													
5	取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>【課題】</p> <p><宮良多鶴子氏平和コンサートについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮良さんのスケジュール調整が大変難しい。(多忙な方であるため) <p><ヤングアメリカンズ招致について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホストファミリーが実施校区からの応募が少なく、地元ボランティアに協力を得ることが数年続いている。 													

	<ul style="list-style-type: none">・会場（学校体育館アリーナ）の使用の仕方について、外履きと室内シューズの履き替え（文化の違い）による準備時の問題。 <p><お仕事スタジアムについて></p> <ul style="list-style-type: none">・商工会議所が提案する時間帯（企業の関係）と学校側の給食時間の変更等の調整が難しい。・コスモスコモンの前日会場準備に係る人員の確保が難しい。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none">・ヤングアメリカンズのホストファミリーについては、受け入れることでのメリットについて、早い段階から学校を通じて地域保護者にお知らせしていくことで希望者を増やしていく。・靴の問題については、自分未来クラブの方からキャストへ事前に周知していただく。（日本はアリーナを大切にしていること）・お仕事スタジアムの時間帯の件については、午前と午後の実施校を生徒数や会場からの距離によって細かく調整する。・お仕事スタジアム会場準備については、少人数で一日かけて実施するか、人数を増やし午後から半日で実施するか、商工会議所と検討する。・本事業をより効果のある体験活動とするために、前年度から年間計画の中に位置づけ、計画的な教育活動にしていく事が必要。
--	--

点検及び評価シート 【学校教育分野】

No 4

対象年度	30年度	所管課名	教育総務課																									
1 基本目標	かしこく やさしく たくましい 子どもの育成																											
2 主要施策	3 豊かな心の育成																											
	3-1 【豊かな人間性の育成】 教育活動全体を通して、道徳性を養う心の教育の充実を図ります。																											
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	学校図書の整備・充実																										
	(2)事業等の内容	教育活動の活性化や、児童生徒の豊かな心と教養を育成することを目的として、学校図書館の図書の充実を図るとともに、児童生徒の図書館の利用促進と読書活動の推進を図るもの。																										
	(3)事業等の目標値	図書充足率 100%(蔵書数/図書標準冊数) 1人当たりの平均年間貸出冊数 小学校 60冊、中学校 12冊																										
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】 古くなった図書の廃棄と新しい図書の購入を行い、所蔵図書の活性化を図っている。また、本の特集やスタンプラリー、しおり作り等のイベントを企画・実施し、図書館の利用促進と読書活動の推進を図っている。</p> <p>【成果】 平均図書充足率は、中学校はわずかに目標値を下回っているが、昨年度と比べて、小学校、中学校ともに増加している。 また、一人当たりの平均年間貸出冊数は、小学校は減少しているが、中学校は増加している。</p> <p>【目標値との対比】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 図書充足率 (%) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校平均(%)</td> <td>100</td> <td>106.6</td> <td>110.4</td> </tr> <tr> <td>中学校平均(%)</td> <td>100</td> <td>97.9</td> <td>99.7</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● 1人当たりの平均年間貸出冊数 (冊) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校平均(冊)</td> <td>60</td> <td>59.6</td> <td>57.6</td> </tr> <tr> <td>中学校平均(冊)</td> <td>12</td> <td>9.9</td> <td>10.9</td> </tr> </tbody> </table>					目標値	29年度	30年度	小学校平均(%)	100	106.6	110.4	中学校平均(%)	100	97.9	99.7		目標値	29年度	30年度	小学校平均(冊)	60	59.6	57.6	中学校平均(冊)	12	9.9	10.9
	目標値	29年度	30年度																									
小学校平均(%)	100	106.6	110.4																									
中学校平均(%)	100	97.9	99.7																									
	目標値	29年度	30年度																									
小学校平均(冊)	60	59.6	57.6																									
中学校平均(冊)	12	9.9	10.9																									
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>【課題】 市内の書店が少なく、購入図書の納品時期が遅くなっているため、授業の利用に遅れないよう前倒しして発注する等の計画的購入が必要である。</p> <p>【今後の方向性】 児童生徒がリクエストした図書のほか、図書館を利用した調べもの学習等の授業で利用できるものも考慮しながら、様々な分類の図書を充実させていく。そのため、市立図書館と連携した団体貸し出しや、より計画的な図書購入を図ることが必要である。</p>																											

点検及び評価シート 【学校教育分野】

No 5

対象年度	30年度	所管課名	学校給食課									
1 基本目標	かしこく やさしく たくましい子どもの育成											
2 主要施策	4 健やかな体の育成											
	4-1 【学校給食の充実】 安全・安心な給食の提供に努めるとともに、献立内容の工夫・改善や給食指導の充実等により学校給食を通じた食育を推進します。											
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	栄養教諭等と連携した食育イベント等の啓発事業の実施										
	(2)事業等の内容	学校給食について、栄養教諭等と連携し、その目的や内容等を広く市民に周知するとともに、学校給食を通じた食育推進等に関する取組やその内容の充実をイベント等を通じ啓発している。										
	(3)事業等の目標値	参加人数：100人（試食分の設定数を100食としているため）										
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】 毎年1月の休日に「学校給食体験イベント」を開催し、広く市民に学校給食を通じて食育の推進を啓発している。開催にあたり、学校、保育所への文書配布及び市報やホームページによる周知を行い参加者の増加を図っている。</p> <p>【成果】 児童・生徒や保護者等を対象とする食育推進啓発に関する行事等を開催し、安全・安心な学校給食の提供を行っているPRとなっている。</p> <p>【目標値との対比】 参加人数目標達成率：157%（実績：157人／目標：100人） （人）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加人数</td> <td>150</td> <td>172</td> <td>157</td> </tr> </tbody> </table>					28年度	29年度	30年度	参加人数	150	172	157
	28年度	29年度	30年度									
参加人数	150	172	157									
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>【課題】 食育推進等の啓発活動の企画も充実させて実施する等して、学校給食への理解促進の取り組みに努めていく必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 栄養教諭等だけではなく、市の他の団体とも連携を取り、イベントの内容とともに周知方法を充実させ、広く市民に参加を促す。</p>											

点検及び評価シート 【社会教育分野】

No 6

対象年度	30年度	所管課名	生涯学習課
1 基本目標	かしこく やさしく たくましい 子どもの育成		
2 主要施策	9 青少年の健全育成		
	9-1 【青少年交流事業・体験活動の充実】 変化の激しい社会において、青少年が主体性をもって「社会を生き抜く力」を養っていけるよう、青少年の交流事業・体験活動の推進と充実及び居場所づくりに努めます。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	飯塚市少年の船事業の実施	
	(2)事業等の内容	未来を担う少年・少女たちの健全育成の一環として、集団生活による仲間づくり、社会性の醸成や地域で活躍するリーダー養成並びに、訪問地である沖縄での平和学習を主たる目的として実施している。また、参加者の増加並びに子ども団員をジュニアリーダーや指導員等へ育成を目標とする。	
	(3)事業等の目標値	【参加者へのアンケート結果】 ・参加者の満足と答えた回答者数／アンケート回答者数（％） 達成目標値 100% 【人材育成の結果】 ・子ども団員から指導的立場や運営スタッフ等で事業関与することになった人数／目標人数 6人（％）※目標値数は前年度の実績	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	【取組み状況】 市は飯塚市少年の船運営委員会が企画・運営する「飯塚市少年の船事業」に事務局として参画し、会議等への参加、事業についての指導や助言、広報活動の支援を主に行い、参加者の増加及び少年・少女たちの健全な育成の促進に取り組んでいる。 【成果】 青少年の健全な育成の促進、また地域の活動に参加するリーダーの育成を目的とし、異年齢間の交流や自主性や社会性を育む研修の支援を行った。運営委員会に事務局として参画し、広報面で学校や交流センターなどと連携を図り参加者の増加を目指した。子ども団員の参加者は 46 名にとどまったが、過去団員経験者の中からジュニアリーダー・指導員として 9 名の参加があり、本研修を通じて青少年の育成に努めた。 【目標値との対比】平成 30 年度 ・参加満足度達成率 100%（実績：25 世帯／25 世帯回答中） ※参加世帯数 46 世帯（回収率 54%） ・指導的立場で事業に関与することになった人数 150%（実績：9 人／目標人数 6 人） ※目標値 6 人は前年度の実績		

	<p>● 参加者数（人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子ども団員</td> <td>61</td> <td>46</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>指導員及びスタッフ</td> <td>27</td> <td>23</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>総数</td> <td>88</td> <td>69</td> <td>83</td> </tr> </tbody> </table>		28年度	29年度	30年度	子ども団員	61	46	46	指導員及びスタッフ	27	23	37	総数	88	69	83
	28年度	29年度	30年度														
子ども団員	61	46	46														
指導員及びスタッフ	27	23	37														
総数	88	69	83														
<p>5 取組・事業の課題、今後の方向性など</p>	<p>【課題】 団員の参加数が年々減少しているため、子どもたちの関心をひくような募集チラシの作成を検討するとともに、市報やホームページ等で募集啓発を行う。</p> <p>【今後の方向性】 学校行事と地域行事等との日程調整を含め、関係団体に事業実施日程の周知を早めに行う。また、事前研修や本研修などの様子をホームページなどに掲載し、より具体的な啓発を実施する。</p>																

点検及び評価シート 【社会教育分野】

No 7

対象年度	30年度	所管課名	生涯学習課																																																													
1	基本目標	いつでも どこでも だれでも 学べる環境づくり																																																														
2	主要施策	1 現代的・社会的な課題に対応した生涯学習の推進 1-5 【読書活動の推進】 本との出会い、読書の楽しさを伝えるため、図書館ボランティアと連携・協力して読書活動を推進します。																																																														
3 取 組 ・ 事 業 の 内 容	(1)事業等名	各図書館や地域の特性を考慮した図書館資料の収集・保管・有効活用																																																														
	(2)事業等の内容	新刊選定・発注を基本に、利用者のリクエスト、スタッフ会議等、図書納入組合ほかの紹介により、「図書館」として収集すべき資料を購入する。資料選定委員会で各図書館の購入傾向・特徴を協議し、市立図書館総体としての資料管理のあり方等を検討し、図書購入の経理処理を通じて、図書館司書の資料選定に偏りが出ないように、市及び委員会がチェックを行う。																																																														
	(3)事業等の目標値	図書館全館（5館）の貸出冊数 → 前年度数以上																																																														
4	取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>図書館の資料の購入・保管について適切に事務が行われ、蔵書累計数は増えている。また、資料購入においては、司書間の情報交換により、共同発注などの購入調整を行っているが、貴重資料のデータ化や効率的な資料保存方法については、十分な検討の余地がある。</p> <p>【成果】</p> <p>各図書館の選書担当者会議で、資料の重複購入（副本の購入）や高額図書の購入ほか、購入資料の調整と各館の蔵書構成等の調整が図られている。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>・図書館利用状況等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">飯塚図書館</td> <td>登録者数</td> <td>40,300</td> <td>41,449</td> <td>42,629</td> </tr> <tr> <td>貸出人数</td> <td>87,653</td> <td>82,973</td> <td>79,895</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>363,114</td> <td>350,875</td> <td>338,365</td> </tr> <tr> <td>蔵書数</td> <td>258,011</td> <td>265,754</td> <td>272,518</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ちくほ図書館</td> <td>登録者数</td> <td>4,698</td> <td>4,855</td> <td>4,975</td> </tr> <tr> <td>貸出人数</td> <td>18,886</td> <td>18,051</td> <td>19,120</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>86,778</td> <td>80,460</td> <td>79,492</td> </tr> <tr> <td>蔵書数</td> <td>78,797</td> <td>80,576</td> <td>83,131</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">庄内図書館</td> <td>登録者数</td> <td>6,769</td> <td>7,004</td> <td>7,238</td> </tr> <tr> <td>貸出人数</td> <td>32,638</td> <td>29,775</td> <td>28,202</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>139,035</td> <td>129,026</td> <td>121,221</td> </tr> <tr> <td>蔵書数</td> <td>73,340</td> <td>74,896</td> <td>77,954</td> </tr> <tr> <td>穂</td> <td>登録者数</td> <td>3,095</td> <td>3,233</td> <td>3,381</td> </tr> </tbody> </table>				28年度	29年度	30年度	飯塚図書館	登録者数	40,300	41,449	42,629	貸出人数	87,653	82,973	79,895	貸出冊数	363,114	350,875	338,365	蔵書数	258,011	265,754	272,518	ちくほ図書館	登録者数	4,698	4,855	4,975	貸出人数	18,886	18,051	19,120	貸出冊数	86,778	80,460	79,492	蔵書数	78,797	80,576	83,131	庄内図書館	登録者数	6,769	7,004	7,238	貸出人数	32,638	29,775	28,202	貸出冊数	139,035	129,026	121,221	蔵書数	73,340	74,896	77,954	穂	登録者数	3,095	3,233	3,381
		28年度	29年度	30年度																																																												
飯塚図書館	登録者数	40,300	41,449	42,629																																																												
	貸出人数	87,653	82,973	79,895																																																												
	貸出冊数	363,114	350,875	338,365																																																												
	蔵書数	258,011	265,754	272,518																																																												
ちくほ図書館	登録者数	4,698	4,855	4,975																																																												
	貸出人数	18,886	18,051	19,120																																																												
	貸出冊数	86,778	80,460	79,492																																																												
	蔵書数	78,797	80,576	83,131																																																												
庄内図書館	登録者数	6,769	7,004	7,238																																																												
	貸出人数	32,638	29,775	28,202																																																												
	貸出冊数	139,035	129,026	121,221																																																												
	蔵書数	73,340	74,896	77,954																																																												
穂	登録者数	3,095	3,233	3,381																																																												

	波 函 書 館	貸出人数	12,699	12,212	12,328
		貸出冊数	55,219	51,916	51,591
		蔵書数	36,842	38,113	39,413
	穎 田 函 書 館	登録者数	574	609	652
		貸出人数	2,371	2,306	2,095
		貸出冊数	7,897	8,098	6,860
		蔵書数	10,259	10,639	11,232
	合 計	登録者数	55,436	57,150	58,875
		貸出人数	154,247	145,317	141,640
		貸出冊数	652,043	620,375	597,529
		蔵書数	457,249	469,978	484,248
	5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>【課題】</p> <p>図書の収集・保管については、全5館の特色を生かした選書を行い、資料の充実に向けていく。また、古書等手に入りにくい資料についても適宜探求し、資料の充足を図る必要がある。昨年同様、蔵書点検時にわかる不明本等の数は年々減少しているが、今後も書架整理・見回りに努め、不明本を出さないよう管理する必要がある。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>保管については貴重資料のデータ化など、効率的な資料保存方法について検討していく。</p> <p>貸出人数、貸出冊数が減少している。小学校から中学校、高校へと学校段階が進むにつれ、読書離れが進む傾向があることから、これらの世代に対する積極的な働きかけが必要である。</p> <p>今後も、小学校1年生向けの利用案内や、大学の新生生に向けての利用案内も継続して実施する。</p>			

点検及び評価シート 【社会教育分野】

No 8

対象年度	30年度	所管課名	生涯学習課												
1 基本目標	いつでも どこでも だれでも 学べる環境づくり														
2 主要施策	1 現代的・社会的な課題に対応した生涯学習の推進														
	1-5 【読書活動の推進】 本との出会い、読書の楽しさを伝えるため、図書館ボランティアと連携・協力して読書活動を推進します。														
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	家庭・地域・保育所（園）・認定こども園等・学校・図書館における子ども読書活動の推進													
	(2)事業等の内容	子どもの「自ら考え、答えを導く力」「読解力」を身につける学習法として「読書」は効果的であり、読書活動を通して家族内でのコミュニケーションを深め、児童期の情操教育に資するとともに、読書習慣の定着と学校・家庭・地域における読書環境の充実を図ることを目的としている。													
	(3)事業等の目標値	「家読（うちどく）」の実施／全小学校													
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>読書活動を通して、児童期の情操教育やコミュニケーション能力の醸成に貢献している。また、「家読」を実施することで、家族の絆をさらに深めることができ、豊かな感性や思いやりが生まれることから、将来社会に役立つ人間形成にもこの事業は貢献すると思慮される。</p> <p>【成果】</p> <p>事業開始2年目であり、児童及び保護者に対する「読書習慣」の意識づけを図るため、市内19の全小学校において「読書」に興味を持つような様々な取組み（家読ビンゴ・家読ノート・スペシャルカード進呈等）を実施していただくことで、家庭における読書習慣の意識向上を図ることができた。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>・「家読」及び「子ども読書活動充実事業」講演会関係</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「家読」実施学校数</td> <td>17校</td> <td>19校</td> </tr> <tr> <td>「家読」実施児童数</td> <td>3,000人</td> <td>3,100人</td> </tr> <tr> <td>「講演会」参加者数</td> <td>—</td> <td>63人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※29年度においては、20校中3校が未実施であるが、30年度においては、市内19校の全小学校が「家読」の実施を行っている。</p>				29年度	30年度	「家読」実施学校数	17校	19校	「家読」実施児童数	3,000人	3,100人	「講演会」参加者数	—	63人
	29年度	30年度													
「家読」実施学校数	17校	19校													
「家読」実施児童数	3,000人	3,100人													
「講演会」参加者数	—	63人													
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>【課題】</p> <p>まだ、家庭における家読の習慣が根付いていないので、次年度以降も学校司書との研修会等を開催して、事業の展開を継続していく必要がある。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>① 学校司書との研修会等を開催し、事業の展開を図る。 ② 家読自体の方法を研究し、児童の読書向上を図る。</p>														

点検及び評価シート 【社会教育分野】

No 9

対象年度	30年度	所管課名	文化課
1 基本目標	個性豊かな 新しい文化の創造		
2 主要施策	1 文化の振興・文化財の保護		
	1-1 【文化の振興】 飯塚市文化振興マスタープランの基本理念である「個性豊かな新しい文化の創造」の実現に向けて文化芸術活動の充実を図ります。		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	文化会館等における文化芸術事業の充実	
	(2)事業等の内容	<p>飯塚市文化会館（飯塚コスモスコモン）や飯塚市役所多目的ホール、イイヅカコミュニティセンター等で一般市民を対象に飯塚新人音楽コンクールや飯塚総合文化祭、飯塚市小学校児童画展、各種展示会等の文化芸術活動を行う。</p> <p>飯塚文化連盟や飯塚文化連盟加盟団体等と連携し、日頃の活動の成果を発表、展示して広く市民に公開し、文化芸術活動の振興を目指す。</p> <p>飯塚市文化会館の指定管理者として飯塚市教育文化振興事業団により自主文化事業を実施する。</p>	
	(3)事業等の目標値	<p>新人音楽コンクール入場者数 1,500 人（前年度入場者数 1,502 人）、飯塚総合文化祭（飯塚市美術展）出展数 130 点（前年度出展数 128 点）、飯塚市小学校児童画展入場者数 1,800 人（前年度入場者数 1,802 人）、飯塚市役所多目的ホール活用回数年間 2 回（前年度活用回数 2 回）を目指す。</p>	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>飯塚新人音楽コンクールにおいては、29 年度に「ふるさとイベント大賞優秀賞」を受賞した記念でテレビ局が映像の制作に訪れ、その後の周知に活用した。</p> <p>飯塚総合文化祭においては、飯塚会場：23 日間、その他市内の 4 会場：各 2 日間で実施。文化活動を行う団体等の発表の場や、交流、紹介の場となり、市民に公開することにより日頃の練習の成果を披露でき、今後の文化活動の意欲向上が図られている。</p> <p>飯塚市小学校児童画展においては、福岡県児童画展を活用し、飯塚市立小学校児童の飯塚市審査を経て筑豊地区審査に進んだ作品を展示し市民に鑑賞してもらうことにより、文化芸術活動の振興が図られている。30 年度は、入場者数増加を図るため、飯塚市小学校児童画展の中で、消しゴムはんこ体験コーナーを設置し、訪れた方々に創作活動を体験してもらうことにより、文化芸術活動の振興を図った。</p> <p>飯塚市役所多目的ホールにおいての展示会では、文化団体に発表の機会を提供するとともに、普段文化芸術活動に触れる機会の少ない市民に文化芸術活動に触れてもらい、地域の文化芸術活動の振興を図るため、教育委員会との共催事業として 30 年度は 3 回開催した。</p>		

	<p>飯塚市教育文化振興事業団の自主文化事業においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 芸術鑑賞事業 13 件、 ② 参加育成事業 15 件、 ③ 出前講座事業 2 件、 ④ その他 4 件の計 34 件実施。 <p>自主文化事業の企画・実施や市民の自主的な文化活動の援助等を通して市民文化の向上及び充実が図られている。</p> <p>【成果】</p> <p>飯塚新人音楽コンクールにおいては、応募者数、入場者数ともに増加した。</p> <p>飯塚総合文化祭においては、全体の入場者数は前年度より減少したが、教育委員会が主管の飯塚市美術展においては、30 年度よりチラシを作成し各交流センターへ配付、高校への出展依頼に加え、大学にも要項を配布し出展依頼を行ったことにより出展数が増加し、絵画部門で高校生が受賞するなど幅広い年齢層の文化活動を促進することが出来た。</p> <p>飯塚市小学校児童画展においては、入場者数増加と、創作活動を体験してもらい文化芸術活動の振興を図るため、消しゴムはんこ体験コーナーを設置し、周知を図った。その結果、入場者数は目標を少し下回ったが、来場者へ行ったアンケートにおいては好評で、満足度の高い展示となり、小学校児童の今後の作品制作の意欲向上にも繋がった。また、保護者の方がゆっくりと子どもの作品を鑑賞することが出来る機会になった。</p> <p>飯塚市役所多目的ホールにおいての展示会では、前年度より 1 回多く展示し、市庁舎に訪れた多くの方に文化芸術活動を公開することが出来た。また、他団体の活動の刺激となり、文化芸術活動の意欲向上も図られた。</p> <p>飯塚市教育文化振興事業団の自主文化事業においては、入場者数及び参加者・受講者数が芸術鑑賞事業、参加育成事業、出前講座事業、その他の計 34 件の事業合計で 12,403 人となり、市民文化の振興を図ることが出来た。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>新人音楽コンクール入場者数目標達成率は 101.87%。 飯塚総合文化祭（飯塚市美術展）出展数目標達成率は 105.38%。 飯塚市小学校児童画展入場者数目標達成率は 99.56%。 飯塚市役所多目的ホール活用回数目標達成率は 150%。</p>
<p>5 取組・事業の課題、今後の方向性など</p>	<p>【課題】</p> <p>周知の充実を行うことで、参加者数等は目標を大きく上回っているが、文化芸術に触れる機会の少ない方が、参加できるような事業の展開が必要である。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>文化芸術に触れる機会が少ない人達に、文化芸術に触れる機会を提供するため、市役所の多目的ホールをはじめ、地域の交流センターなどで、気軽に参加できる事業を展開し、文化芸術事業の充実普及を図る。</p>

点検及び評価シート 【社会教育分野】

No 10

対象年度	30年度	所管課名	文化課																
1 基本目標	個性豊かな 新しい文化の創造																		
2 主要施策	1 文化の振興・文化財の保護																		
	1-3 【文化財の保存・継承・活用】 文化財の保存・整備・活用を図るとともに、地域の文化や特色を伝承する民俗芸能の保存・継承・活用に努めます。																		
3 取組・事業の内容	(1)事業等名	発掘調査事業の実施																	
	(2)事業等の内容	市内における各種開発行為に伴う事前審査及び発掘調査、市内に所在する重要遺跡の内容確認調査、発掘調査成果の整理・報告書作成を実施することにより市内に所在する埋蔵文化財の保護・活用を目的とした事業である。																	
	(3)事業等の目標値	開発行為把握件数：120件 発掘調査件数：3件 遺物整理作業遺跡件数：5件																	
4 取組状況・成果・目標値との対比など	<p>【取組み状況】</p> <p>開発事業と埋蔵文化財保護の調整を図り、重要遺跡等については計画的に発掘調査等で内容の把握等に努め文化財保護・活用を図っている。また、調査成果についても資料として活用できる状態に計画的に再整理・登録化を図っている。</p> <p>【成果】</p> <p>開発行為に伴う埋蔵文化財の事前審査に関しては事業者からの苦情等もなく迅速に対応し、日上遺跡の発掘調査も予定通りに実施完了することができ、開発事業と埋蔵文化財保護の調整を図ることができた。</p> <p>市の重要遺跡の調査として、ホーケントウ古墳の発掘調査では規模・構造が明らかとなった。</p> <p>内野宿御茶屋跡の調査では主屋の基礎構造等が明らかとなった。また、郷ノ原遺跡・春田遺跡・森遺跡・清水遺跡・箱掛遺跡については、資料の保存・活用を目的として出土遺物などの再整理・登録化をおこなった。</p> <p>【目標値との対比】</p> <p>開発行為把握件数目標達成率 108.33%（実績：130件／目標120件） 発掘調査・遺物整理作業件数については目標達成率 100%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開発行為把握件数</td> <td>172</td> <td>132</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>発掘調査件数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>遺物整理作業実施遺跡件数</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>				28年度	29年度	30年度	開発行為把握件数	172	132	130	発掘調査件数	2	3	3	遺物整理作業実施遺跡件数	4	2	5
	28年度	29年度	30年度																
開発行為把握件数	172	132	130																
発掘調査件数	2	3	3																
遺物整理作業実施遺跡件数	4	2	5																
5 取組・事業の課題、今後の方向性など	<p>【課題】</p> <p>国・県等の補助、指導を受けながら計画的に適切な発掘調査を実施し、その成果等について適切に保存・活用を行い、文化財行政に対し市民の理解を求めていく必要がある。開発行為と埋蔵文化財保護の調整については、開発側との連絡を図り、迅速に対応できるよう心がける。</p>																		

	<p>【今後の方向性】 市内に所在する重要遺跡について、調査・保存の優先順位等を決めるため課内で協議する必要がある。</p>
--	---

参考資料

1 平成 30 年度 教育委員会会議付議議案等一覧

(1) 教育委員会会議付議案件

件 名	提出日
臨時代理の承認(平成 30 年度事務局職員の人事異動等)	H30.4.12
平成 30 年度飯塚市教育施策要綱	H30.4.12
飯塚市立小中一貫校長の任命	H30.4.12
平成 30 年度飯塚市教育施策要綱(継続審議)	H30.5.17
平成 30 年度教育費に係る補正予算	H30.5.17
飯塚市いじめ・不登校問題連絡協議会委員の委嘱又は任命	H30.5.17
飯塚市立学校通学区域審議会委員の任命	H30.5.17
飯塚市学校運営協議会委員の任命 (穎田小学校及び穎田中学校)	H30.5.17
飯塚市学校運営協議会委員の任命 (高田小、内野小、八木山小、筑穂中)	H30.5.17
飯塚市社会教育委員の委嘱	H30.5.17
飯塚市公民館運営審議会委員の委嘱	H30.5.17
平成 30 年度飯塚市教育施策要綱(継続審議)	H30.6.13
飯塚市心身障がい児(生)就学指導委員会委員の委嘱又は任命	H30.6.13
飯塚市学校運営協議会委員の任命 (筑穂中学校)	H30.6.13
飯塚市図書館運営協議会委員の任命	H30.6.13
飯塚市文化財保護審議会委員の委嘱	H30.6.13
飯塚市いじめ・不登校問題連絡協議会委員の委嘱	H30.7.13
飯塚市立学校通学区域審議会委員の委嘱	H30.7.13
飯塚市給食運営審議会委員の委嘱又は任命	H30.7.13
飯塚市図書館運営協議会委員の任命	H30.7.13
飯塚市社会教育委員の委嘱	H30.7.13
飯塚市歴史資料館運営協議会委員の委嘱	H30.7.13
飯塚市人権同和教育基本方針の改正	H30.8.20
平成 31 年度から使用する中学校教科用図書の採択	H30.8.20
平成 31 年度使用する小学校教科用図書の採択	H30.8.20
訴えの提起(鹿毛馬神籠石敷の共有物分割請求)	H30.8.20
訴えの提起(鹿毛馬神籠石敷の共有物分割請求)	H30.8.20
飯塚市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則	H30.9.18
飯塚市立小・中学校空調設備設置計画の計画期間変更	H30.10.15
平成 30 年度教育費に係る補正予算	H30.11.19
飯塚市教育委員会事業評価結果 (平成 29 年度分)	H30.11.19
飯塚市給食運営審議会委員の委嘱又は任命	H30.11.19
訴えの提起 (鹿毛馬神籠石敷の共有物分割請求)	H30.11.19
飯塚市文化会館(飯塚コスモスコモン)改修計画の策定	H30.11.19
飯塚市文化振興審議会委員の委嘱	H30.11.19
飯塚市立小・中学校空調設備設置計画の変更	H30.12.25
臨時代理の承認 (飯塚市教育職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例)	H30.12.25

2019年度飯塚市教育施策要綱	H31.1.21
飯塚市社会教育委員の委嘱	H31.1.21
飯塚市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	H31.1.21
2019年度飯塚市教育施策要綱（継続審議）	H31.2.21
平成30年度教育費に係る補正予算	H31.2.21
2019年度教育費に係る当初予算	H31.2.21
飯塚市社会教育関係団体の登録に関する要綱の一部を改正する告示	H31.2.21
平成31年度教職員の人事異動等	H31.3.25
2019年度飯塚市教育施策要綱（継続審議）	H31.3.25
飯塚市立学校管理規則の一部を改正する規則	H31.3.25
飯塚市文化財保存活用推進委員会規則の制定	H31.3.25
飯塚市学校運営協議会委員の任命	H31.3.25
飯塚市立小中学校における働き方改革推進委員会の設置等に関する要綱	H31.3.25
飯塚市学校ICT環境整備推進計画の策定	H31.3.25

(2) 教育委員会会議報告案件

件名	提出日
平成30年第1回飯塚市議会定例会の結果報告について	H30.4.12
第2次飯塚市教育施策の大綱について	H30.4.12
平成30年度からの小学校オンライン英会話事業委託業者の決定について	H30.4.12
平成29年度第2回飯塚市奨学資金貸付審議会に係る諮問及び答申について(補助執行事務)	H30.4.12
飯塚市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の専決処分について(補助執行事務)	H30.4.12
飯塚市児童クラブの名称及び定員の告示(補助執行事務)について	H30.4.12
平成30年度飯塚市「学校開放日」、運動会・体育会及び修学旅行の日程等について	H30.4.12
小中一貫校等建設工事の進捗状況について	H30.4.12
平成29年度中学生海外研修事業の実施報告について	H30.4.12
教職員の処分について	H30.4.26
文部科学大臣政務官学校視察について	H30.4.26
中学生の進路(進学)状況について	H30.4.26
庄内まちづくりワークショップの設立について	H30.5.17
鎮西地区スクールバス運行基準の見直しについて	H30.6.13
飯塚市奨学金資金貸付審議会委員の委嘱について(補助執行事務)	H30.6.13
小中一貫校幸袋校における民家損傷事故について	H30.6.13
大規模改造工事について	H30.6.13
平成30年度学校開放日の結果報告について	H30.6.13
第37回新人音楽コンクールについて	H30.6.13
平成30年第2回飯塚市議会定例会の結果報告について	H30.7.13

小中学校敷地内ブロック塀緊急点検結果について	H30.7.13
平成 30 年度夏季休業期間の学校閉庁日の実施について	H30.7.13
第 39 回飯塚市少年の船事業について	H30.7.13
第 30 回アジア太平洋こども会議(APCC)・イン福岡について	H30.7.13
筑豊炭田遺跡群 目尾炭坑跡の国指定史跡について	H30.7.13
平成 30 年度第 3 回一般会計補正予算(平成 30 年 7 月 6 日専決処分)について	H30.8.20
平成 30 年 7 月豪雨災害による被害状況及び教育委員会の対応等について	H30.8.20
経済産業省「未来の教室実証事業」における中学校プログラミング教育の実証授業実施について	H30.8.20
第 39 回飯塚市少年の船事業本研修の実施報告について	H30.8.20
飯塚市学校給食調理コンクールの実施報告について	H30.9.18
平成 30 年第 3 回飯塚市議会定例会の結果報告について	H30.10.15
飯塚東小学校他 7 校の所有権確認請求等の状況について	H30.10.15
工事請負契約について	H30.10.15
サイエンスモール in 飯塚 2018 報告について	H30.10.15
小中一貫校飯塚鎮西校における事故について	H30.11.19
平成 30 年度飯塚市奨学資金貸付審議会に係る諮問及び答申について(補助執行事務)	H30.11.19
平成 30 年第 4 回飯塚市議会定例会の結果報告について	H30.12.25
飯塚市奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例について(補助執行事務)	H30.12.25
飯塚市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について(補助執行事務)	H30.12.25
平成 30 年度学校開放日の結果報告について	H30.12.25
飯塚市学校給食体験イベントの開催について	H30.12.25
飯塚市奨学資金貸付基金条例施行規則の一部改正について(補助執行事務)	H31.1.21
平成 30 年度第 2 回飯塚市奨学資金貸付審議会に係る諮問及び答申について(補助執行事務)	H31.1.21
飯塚市とソフトバンク株式会社との教育事業連携に関する協定の締結について	H31.1.21
平成 30 年度飯塚市成人式の実施報告について	H31.1.21
心身障がい児(生)の就学等について	H31.2.21
学校給食調理等業務の受託候補者特定について	H31.2.21
学校給食費滞納に対する法的措置の専決処分について	H31.2.21
平成 31 年度における年間給食実施回数について	H31.2.21
平成 31 年第 1 回飯塚市議会定例会の結果報告について	H31.3.25
給食アンケート結果について	H31.3.25
飯塚市全国大会等出場報奨金交付要綱の一部改正について(補助執行事務)	H31.3.25